

## 生命機能研究科

学位プログラム： ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム（生命機能学）

授与する学位： 博士（生命機能学）、博士（理学）、博士（工学）

### 教育目標

---

大阪大学および生命機能研究科の教育目標のもと、学位プログラム「ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム」では、生命システムなどが持つ柔軟性、頑強性、持続発展性を有し、絶えず変化する社会環境を支え、人間・環境に調和した情報社会を構築できる卓越したリーダー人材を育成します。所属する専攻の教育目標に加え、情報・生命・認知・脳科学の融合分野において、自ら課題を設定し、グループを組織・牽引してそれを解決することにより、新たなイノベーションを起こすことのできる双方向性を備えたネットワーキング型の博士人材を育成することを目指します。

#### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

情報・生命・認知・脳科学といった融合分野における最先端かつ幅広い知識を身につけ、横断的にとらえることのできる人材の育成を目指します。

#### ○高度な教養

融合分野の広範な知識を統合して、社会課題を俯瞰的に捉え、解決に導くことのできる高い教養を持った人材の育成を目指します。

#### ○高度な国際性

高い倫理観を持ちグローバルに活躍し、学術領域や産業界における融合分野の発展に貢献できる力をもった人材の育成を目指します。

#### ○高度なデザイン力

独創的な融合領域を開拓し推進できる高度なデザイン力と、その発展をリードできる牽引力を持った人材の育成を目指します。

## 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

---

大阪大学および生命機能研究科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム」では、所属する専攻の教育課程に加え、体系的に編成されたコースワークと教育指導を行います。5年一貫制の博士課程を通して、所定の単位数を修得し、必要な研究指導を受けた上で、定められた審査に合格し、次のとおり学習目標として定める優れた知識と能力を身につけている学生に、博士の学位（博士（生命機能学）、博士（理学）、博士（工学））を授与します。

### ○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- 情報・生命・認知・脳科学といった融合分野の高度な知識を身につけ、横断的にとらえ活用することのできる能力を身につけている。

### ○高度な教養

- 融合分野の広範な知識を基盤とし、社会課題を解決に導くイノベーションを創出できる高度な教養と着想力を身につけている。

### ○高度な国際性

- 高い倫理観と国際性を有し、学術領域や産業界における融合分野の発展に貢献できる力を身につけている。

### ○高度なデザイン力

- 情報・生命・認知・脳科学の深い学識を駆使して、融合分野研究を立案できるデザイン力を身につけている。
- 融合分野研究を推進し、リーダーとして牽引できる能力を身につけている。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

---

大阪大学および生命機能研究科のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム」では、ディプロマ・ポリシーに定める高度な学識・能力を修得するため、以下のカリキュラム・ポリシーを定めています。

### <教育課程編成の考え方>

本学位プログラムでは、所属する専攻の教育課程に加え、情報・生命・認知・脳科学といった融合分野の幅広い知識を修得するための特別科目を配置しています。また、融合分野研究の実践力を育てる研究科目、社会実践・国際性を涵養する実践科目などを5年一貫の博士課程を通じて体系的に編成し、高度な指導を行います。

### <学修内容及び学修方法>

- 情報・生命・認知・脳科学といった異分野に対する理解を深め、これらを融合した研究分野のイノベーション創出を目指せるよう、幅広い知識を身につける科目を必修科目として学修します。
- 自らの興味をもって他者と協働し、独創的な融合分野研究を立案・推進できる実践力と牽引力を養う研究科目を必修科目・選択科目として学修します。
- 社会のニーズを意識して、新たな技術・分野の創出や推進を多様な方法で実践し、社会に還元することができるよう、産業界や国内外の研究機関と連携した実践科目を必修科目・選択科目として学修します。
- 融合分野でグローバルに活躍できる力を身につけるためのインターンシップ科目を選択科目として学修します。

### <学修成果の評価方法>

学修の成果は、学習目標の達成度を試験、レポート、成果発表などシラバスに記載された評価方法によって、厳格に評価します。また、進級審査を行い、継続して本プログラムの学習目標達成に向けた遂行力があるかを評価します。修了審査では、融合分野の研究成果を評価するとともに、融合分野での新たなイノベーションを創出する能力、異分野の研究者に内容をわかりやすく伝えるコミュニケーション能力、チームを牽引できる実践力と国際性を有しているかを評価します。

# カリキュラムマップ (ヒューマンウェアイノベーション学位プログラム)

	最先端かつ高度な専門性と深い学識	高度な教養	高度な国際性	高度なデザイン力	1年				2年				3年				4年				5年			
					春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
所属する専攻(学位プログラム)のディプロマ・ポリシーに定める能力	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	所属専攻 科目																			
情報・生命・認知・脳科学といった融合分野の高度な知識を身につけ、横断的にとらえ活用することのできる能力を身につけている	<input type="radio"/>				<b>HWPコア科目(必修)</b> ・HW基礎論I ・HW基礎論II ・HWイノベーション創出論 ・HWコミュニケーション																			
融合分野の広範な知識を基盤とし、社会課題を解決に導くイノベーションを創出できる高度な教養と着想力を身につけている		<input type="radio"/>																						
高い倫理観と国際性を有し、学術領域や産業界における融合分野の発展に貢献できる力を身につけている			<input type="radio"/>		<b>HWPコア科目(選択)</b> ・HW国内インターンシップ(短期/長期) ・HW海外インターンシップ(短期/長期)																			
情報・生命・認知・脳科学の深い学識を駆使して、融合分野研究を立案できるデザイン力を身につけている				<input type="radio"/>																				
融合分野研究を推進し、リーダーとして牽引できる能力を身につけている				<input type="radio"/>	<b>HWPコア科目(必修)</b> ・HW融合領域プロジェクト研究 <b>HWPコア科目(選択)</b> ・HW融合領域Pプロジェクト研究 ・HW価値創造実践																			